

大広重展

— 東海道五拾三次と雪月花叙情の世界 —



2025

4.12^{SAT} - 6.15^{SUN}

開館時間=午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日=月曜日(祝日の場合は開館)、4月30日(水)、5月7日(水) 観覧料=一般/大・高生 800(640)円、中学生以下無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

企画展の料金に特集展の観覧料が含まれます。「家庭の日」の第3日曜日は中学生以下の子ども同伴者2名まで観覧無料。

*6月14日(土)、15日(日)は「県民の日」のため観覧無料。

- 主催=栃木市教育委員会、栃木市立美術館
- 後援=朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、ケーブルテレビ栃木、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送
- 監修=中右瑛(国際浮世絵学会常任理事) ●企画協力=ステップ・イースト
- 栃木市立美術館・文学館企業等サポーター=滝沢ハム株式会社、栃木信用金庫、株式会社ホンダカーズ栃木中央、株式会社呉光製作所、トヨタホーム株式会社栃木事業所、ケーブルテレビ株式会社、とちぎ行政書士法人(令和7年3月1日現在、口数・申込順)

図版・上から(東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景) 大判錦絵 天保4年(1833)頃、(東海道五拾三次之内 日本橋(異版)) (部分) 大判錦絵 天保6年(1835)頃、(東海道五拾三次之内 箱根 湖水図) (部分) 大判錦絵 天保4年(1833)頃

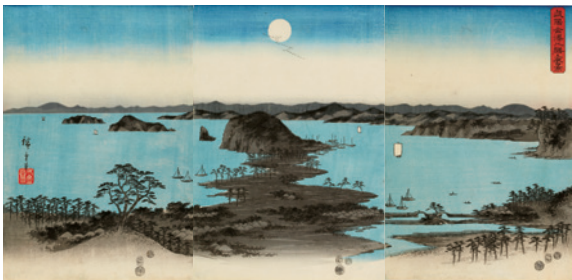
栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum
www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/
〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 Tel: 0282-25-5300

UTAGAWA Hiroshige

The Series Fifty-three Stations of the Tōkaidō Road and World of Lyricalism

大広重展

東海道五拾三次と雪月花叙情の世界



歌川広重(1797-1858)は江戸時代後期に活躍した浮世絵師です。定火消同心の家に生まれながら歌川豊広に入門し、役者絵・武者絵・美人画などの錦絵のほか、合巻小説の表紙絵・挿絵、摺物を手がけました。空や海の青の表現を広げる、舶来化学染料のペロ藍(ペルリンブルー、プルシアンブルーとも)と呼ばれる青色の絵の具を使って「東都名所」や「東海道五拾三次」を次々と発表。浮世絵の世界では美人画と役者絵が主流のなかで、名所絵をひとつの人気ジャンルに押し上げました。広重の名声を決定的にした「東海道五拾三次」には日本橋から京都三条大橋までの間に設けられた、53の宿場を旅する人たちの姿や、各地で暮らす人々の営み、移りゆく四季折々の自然や風物が詩情豊かに謳いあげられています。

本展覧会は、「東海道五拾三次」や最晩年の傑作であり、印象派の画家たちに影響を与えた「名所江戸百景」などの名所絵に肉筆美人画、戯画なども加えて、歌川広重の叙情の世界を約200点でご紹介します。

学芸員によるギャラリートーク

日時=4月12日(土)、5月25日(日)
いずれも午後2時~1時間程度(予定)
対象=どなたでも
参加費=無料(要当日の企画展観覧券)

集合場所=展示室A

学芸員によるキッズギャラリートーク

日時=4月20日(日)、5月5日(月・祝) 午前11時~11時30分
対象=小学生
集合場所=ロビー

ワークショップ「浮世絵摺り体験！」

体験用の版木で浮世絵の摺りに挑戦!
日時=①4月27日(日) ②5月18日(日) ③5月25日(日) 午前10時~12時
場所=多目的室(つなてみち)
対象=①③...高校生以上

②...小学校4年生~中学生とその保護者

定員=①③...5名 ②...5組10名(要事前申込、先着順)
材料費=1人300円(紙代等) 申込開始日=4月13日(日) 午前10時~
申込方法=電話:0282-25-5300

*展示室にて一部作品の鑑賞を含むため、要企画展観覧券(5月18日(日)は家庭の日のため不要)

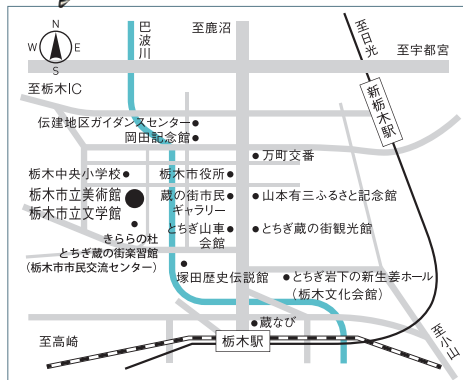
ワークショップ「コラージュ! “広重ブルー”でつくる「蔵の街」

浮世絵師・歌川広重が愛用したプルシアンブルーと栃木市のイメージ画像を切ったり貼ったりして、「蔵の街」をつくります。

日時=6月1日(日)午後1時30分~3時30分
講師=荒井経氏(東京藝術大学大学院教授) 場所=多目的室(つなてみち)
対象=小学生以上(小学生は保護者の同伴必須) 定員=15名(要事前申込、先着順)
材料費=1,000円 申込開始日=4月13日(日) 午前10時~
申込方法=電話:0282-25-5300

*展示室にて一部作品の鑑賞を含むため、高校生以上は要企画展観覧券

関連企画イベント



交通アクセス
[電車] 栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
[バス] 栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分
[車] 東北自動車道、栃木ICから約10分

同時開催

特集展 もっと詳しく雪月花 展示室C

喜多川歌麿の高精細複製画「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」の展示にあわせて、画中に描かれている工芸品をイメージさせる陶磁器等を展示し、当時の生活と文化を身近に感じていただけます。

*企画展の料金に特集展の観覧料が含まれます。



《葡萄蒔繪煙草盆》江戸時代 17世紀 サントリー美術館蔵

栃木市立文学館

企画展 くじけないで~柴田トヨのこぼれ~

■4月19日(土)~9月28日(日) ■2階多目的室
■観覧料:一般/大生 330(260)円 中学生以下無料
*()内は20名以上の団体料金
*企画展の料金で常設展を無料観覧できます。

栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/ 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 Tel : 0282-25-5300



X(Twitter):
@tcam_tldm



Facebook



Instagram:
@tcam_tldm

1.《東海道五拾三次之内 日本橋(興版)》大判錦絵 天保6(1835)年頃
2.《東海道五拾三次之内 蒲原夜之雪》大判錦絵 天保4年(1833)頃
3.《名所江戸百景 江戸梅屋舗》大判錦絵 安政4年(1857)
4.《名所江戸百景 大はしあけの夕立》大判錦絵 安政4年(1857)
5.《武陽金澤八勝夜景》大判錦絵三枚続 安政4年(1857)
6.《大和吉野の奥》紙本着色 嘉永2-4年(1849-51)頃
7.《美人風俗合京嶋原 角徳内錦戸太夫》大判錦絵 文政(1818-30)前期
8.《かさごといさき》大判錦絵 天保(1830-44)前期